

第1号様式（第3条、別表関係）

補助金交付申請書

年 月 日

（あて先）茅ヶ崎市長

申請者 住 所

氏 名

電 話 ()

年度茅ヶ崎市合併浄化槽設置整備事業補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。なお、本申請に当たり、補助対象者の要件である市税の滞納の有無及び土地の所有権等について、茅ヶ崎市が保管する公簿等により確認することに同意します。

1 補助事業の目的及び内容

目 的・・・生活排水による公共用水域の水質汚濁及び生活環境の悪化の防止

内 容・・・ 人槽合併処理浄化槽の設置

2 補助事業の施行場所 茅ヶ崎市

3 補助事業の着手及び完了の予定期日

年 月 日 から 年 月 日 まで

4 交付申請額 円

5 交付申請額の算出方法 定額

6 補助金事業費の経費の配分及び経費の使用法 別途予算書のとおり

7 添付書類

☐ 事業計画書

☐ 設置届出書の写し

☐ 設置場所案内図

☐ 浄化槽構造図

☐ 配置配管図

☐ 収支予算書

☐ 登録証の写し

☐ 登録浄化槽管理表（C票）

☐ 誓約書

☐ 工事請負者の登録証の写し

☐ 浄化槽設備士の免状の写し

☐ 流入許可書の写し

事業計画書

年 月 日 氏 名 _____	
事業の費用	合計 _____ 円 内訳 本体費 _____ 円 工事費 _____ 円 消費税 _____ 円
処理能力	____ 人槽、日間平均BOD値20mg/リットル以下
処理方法	☐ 嫌気ろ床接触ばっ気方式 ☐ 生物ろ過方式
メーカーの名称 型式及び認定番号	_____
工事負担者 (登録証の写を添付)	住 所 _____ 名 称 _____ 代 表 者 _____ 登録番号 _____ 電 話 _____
浄化槽設備士 (免状の写を添付)	住 所 _____ 名 称 _____ 電 話 _____ 免状番号 _____
建築物	建築面積: _____ m² 敷地面積: _____ m² 延床面積: _____ m² (併用住宅の居住部分は _____ m²) 用途(併用部分も記入): _____ 所有等区分: ☐ 本人 ☐ 共有 ☐ 賃借
放 流 先 (「地下浸透」以外は流入許可書(写)を添付)	☐ 道路側溝 ☐ 簡易下水 ☐ 水路 ☐ 河川 ☐ 地下浸透 ☐
設 置 理 由 (別紙 転換計画書を添付)	☐ くみ取り便槽から転換 ☐ 単独処理浄化槽から転換
転 換 理 由	☐ 補助金制度が活用できるため ☐ 老朽化による破損のため ☐ 水環境の保全のため ☐

轉換計畫書

申請者	住所		
	氏名		
	電話番号		
現況	現況		☐ 単独処理浄化槽 ☐ くみ取り便槽
	設置場所		別紙配置配管図(排水系統図を含む)のとおり
	備考		
	単独処理浄化槽	製造業者	
		型式	
		人槽	
処理方法			
転換事業計画 既設の単独処理浄化槽、又はくみ取り便槽の処分方法、又は再利用方法について	処分方法		☐ 撤去処理 ☐ 埋め戻し処理 ☐ その他()
	処分先再利用方法等		
備考			

収 支 予 算 書

(収入の部)

(単位:円)

区 分	予 算 額	摘 要
補 助 金		
自 己 資 金		
計		

(支出の部)

(単位:円)

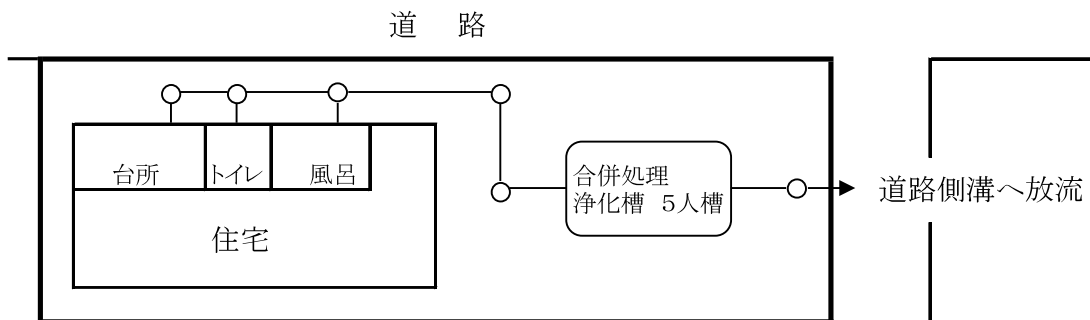
区 分	予 算 額	摘 要
合併処理浄化槽本体		
埋 設 工 事		
据 付 配 管 工 事		
諸 経 費		
消 費 税		
計		

配置配管図

以下の記入例により記載してください。

記載事項は、 (1)土地の形態 (2)建物の形態 (3)周辺道路状況
(4)浄化槽の位置 (5)排水系統 (6)放流先

記入例



誓 約 書

年 月 日

(あて先)茅ヶ崎市長

住 所

氏 名

印

電 話

このたびの合併処理浄化槽の設置に際し、茅ヶ崎市合併処理浄化槽設置整備事業補助金申請にあたり次のとおり誓約します。

- 1 浄化槽法で定められている法定検査は確実に受検し、浄化槽の機能を損なわないよう努めます。また、浄化槽法7条に基づく設置後の水質検査の結果、改善を要する事項の指摘があった場合には、速やかに改善措置を講じます。
- 2 浄化槽法で定められている保守点検は確実に実施し、浄化槽の機能を損なわないよう努めます。
- 3 浄化槽法で定められている清掃を定期的 to 実施し、浄化槽の機能を損なわないよう努めます。
- 4 財産処分制限期間である7年以内に補助対象浄化槽を処分した場合は、補助金を返還します。
- 5 公共下水道が供用開始された場合は、所定の期間内に接続します。

実 績 報 告 書

年 月 日

（あて先）茅ヶ崎市長

住 所

氏 名

年 月 日付け 茅下建第 号で交付決定を受けました茅ヶ崎市合併処理浄化槽設置整備事業の補助金に係る補助事業の実績を次のとおり報告します。

1 事業実績

（1） 施行場所 茅ヶ崎市

（2） 人槽の合併処理浄化槽の設置

（3） 事業費 円

（4） 補助金額 円

（5） 着手年月日 年 月 日

（6） 完了年月日 年 月 日

2 収支実績

（別添収支決算書のとおり）

3 添付書類

- ☐ 保守点検業務委託契約書の写し
- ☐ 法定検査手数料受領証の写し
- ☐ 収支決算書又は決算見込書
- ☐ チェックリスト
- ☐ 請求書の写し又は領収書の写し
- ☐ 写真
- ☐ 補助金交付決定通知書の写し

収 支 決 算 書

(収入の部)

(単位:円)

区 分	予 算 額	決 算 額	増 減 (△)	摘 要
補 助 金				
自 己 資 金				
計				

(支出の部)

(単位:円)

区 分	予 算 額	決 算 額	増 減 (△)	摘 要
合併処理浄化槽本体				
埋 設 工 事				
据 付 配 管 工 事				
諸 経 費				
消 費 税				
計				

請 求 書

年 月 日

次のとおり、請求します。

請 求 金 額									
金額の頭部に¥マークを記入してください									

項 目 ・ 品 名	数 量	単 価	金 額
合 計			

住 所

氏 名

(宛先)茅ヶ崎市長

口 座 振 替 支 払 依 頼 書									
金融機関名					支店名				
金融機関番号		店番号		預金種目			口座番号(右づめで記入してください)		
				1 普通 2 当座 3 別段					
フリガナ 口座名義									

職員使用欄

本人確認書類	対応職員
☐ 運転免許証(経歴) ☐ 個人番号カード ☐ パスポート ☐ 在留カード(特) ☐ 障害者手帳 ☐ 健康保険証 ☐ 介護保険被保険者証 ☐ 後期高齢者医療被保険者証 ☐ 身分証 ☐ その他()	

検 査 項 目	チェックポイント	欄
12. 消毒設備の変形、破損、固定の状況	消毒設備に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
	薬剤筒は傾いていないか。	
13. ポンプ設置(流入ポンプ及び放流ポンプ)の設置、稼働状況	ポンプ升に変形や破損はないか。	
	ポンプ升に漏水のおそれはないか。	
	ポンプが2台以上設置されているか。	
	設計どおりの能力のポンプが設置されているか。	
	ポンプの固定が十分行われているか。	
	ポンプの取り外しが可能か。	
	ポンプの位置や配管がレベルスイッチの稼働を妨げるおそれはないか。	
14. ブロワーの設置、稼働状況	防振対策がなされているか。	
	固定は十分に行われているか。	
	アースはなされているか。	
	漏電のおそれはないか。	
上記のとおり確認したことを証します。 年 月 日 担当浄化槽設備士氏名 (浄化槽設備士免状の交付番号 印)		

チェックリスト

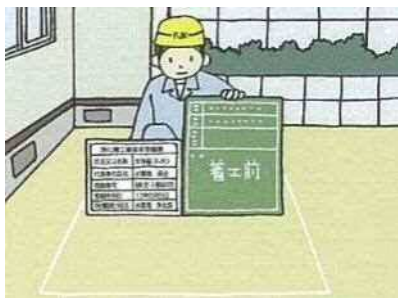
() 邸

検 査 項 目	チェックポイント	欄
1. 流入管きょ及び放流管きょ勾配	汚物や汚水の停滞はないか。	
2. 放流先の状況	放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流のおそれはないか。	
3. 誤接合等の有無	生活排水が全て接続されているか。	
	雨水や工場廃水等が流入していないか。	
4. 升の位置及び種類	起点、屈曲点、合流点及び一定間隔ごとに適切な升が設置されているか。	
5. 流入管きょ、放流管きょ及び空気配管の変形、破損のおそれ	管の露出等により変形、破損のおそれはないか。	
6. かさ上げの状況	バルブの操作などの維持管理を容易に行うことができるか。	
7. 浄化槽本体の上部及びその周辺の状況	保守点検、清掃を行いにくい場所に設置されていないか。	
	保守点検、清掃の支障となるものが置かれていないか。	
	コンクリートスラブが打たれているか。	
8. 漏水の有無	漏水が生じていないか。	
9. 浄化槽本体の水平の状況	水平が保たれているか。	
10. 接触材等の変形、破損、固定の状況	嫌気ろ床槽のろ材及び接触ばっ気槽の接触材に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
11. ばっ気装置、逆洗装置及び汚泥移送装置の変形、破損、固定及び稼働の状況	各装置に変形や破損はないか。	
	しっかり固定されているか。	
	空気の出方や水流に片寄りはないか。	

提出写真

補助金交付決定通知書を受けてから設置工事にかかっています。浄化槽設置完了後に提出する実績報告書に写真を添付していただきますので、次の要領で撮影してください。

【写真1】 浄化槽整備士が実地に監督していることを証する写真。



〔写真のポイント〕

- ① 浄化槽の設置場所。
- ② 浄化槽設備士は正面を向く。
- ③ 標識看板を掲げる。
- ④ 背景に工事を行う場所の周辺状況(地面・家屋等)とともに写す。
- ⑤ 標識の掲示は国土交通省「浄化槽工事業に係わる登録等に関する省令第9条」に定める様式第8号・同第9号による。

【写真2】 基礎砕石敷設転厚圧工事状況を示す写真。



〔写真のポイント〕

栗石または砕石地業でランマ等機材で転厚の作業を行っているところを写す。

【写真3】 基礎工事の状況を示す写真(基礎工事の配筋)。



〔写真のポイント〕

型枠及び配筋の状態がわかるもの、ピッチがわかるスケールとともに写す。

【写真4】 基礎工事の状況を示す写真(基礎底版コンクリート)。



〔写真のポイント〕

コンクリート養成後、コンクリート厚のわかるスケールとともに写す。

【写真5】 浄化槽本体及び浄化槽搬入状況を示す写真。



〔写真のポイント〕

現場での浄化槽本体の搬入状況、及び本体に明記されているメーカー・型式・人槽が判読できる写真を写す。

【写真6】 据付工事の状況を示す写真。



〔写真のポイント〕

水張りを行い、本体の水平を確認しつつ埋め戻しの作業を行っていることがわかる写真を残す。

そのためには、以下の道具等が写っていることが必要である。

ア 本体の水平を確認するための水準器。

(これに代えて、水準目安線や越流ぜき、流入、放流、移流管等の状況を浄化槽設備士等が確認していることを写した別の写真でもよい。)

イ 埋め戻しの高さを示すスケール。

ウ 水張り及び水じめに用いるホース。

エ つき固め用の器具(つき棒、ランマー等)及び埋め戻しに用いている土砂(本体を傷つけるおそれのある石などが入っていない土砂)。

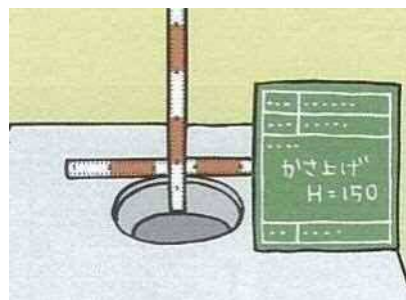
【写真7】 上部スラブコンクリートの配筋状況を示す写真。



〔写真のポイント〕

配筋の状态がわかるもの。ピッチがわかるスケールとともに写す。

【写真8】 かさ上げの状況を示す写真。



〔写真のポイント〕

マンホール蓋の高さから、バルブ等の操作が可能であるかがわかる写真を残す。そのためには、バルブの上端からマンホールの蓋までの距離がわかるように、スケールをあてた写真を残す。

【写真9】 浄化槽上部、及び周囲の状況から浄化槽工事が竣工したことを示す写真。



〔写真のポイント〕

浄化槽の上部及び周囲の状況から、残土の処分や工事の後片付け等、工事が終了していること。また、現場において、工事の竣工確認を行った浄化槽設備士が写っていることが望ましい。

【写真10】 ブロワの設置状況を示す写真。



〔写真のポイント〕

ブロワ、屋外用コンセント、アース工事及び送気管とブロワの接続状況がわかるように写す。